



QRコードで
携帯サイトへ
簡単アクセス

MPC

まつだ元気っ子通信



鳥取県倉吉市新町3丁目1178 TEL: (0858)22-2959 FAX: (0858)22-2977

E-mail: rmatsuda@apionet.or.jp URL: <http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp>

予約専用URL <http://www.matsudasyounika5489.com>

寒くなったり、暑くなったり気温の変化が激しく体調も崩しやすくなっています。特に冷えこんだ時などは喘息発作を起こしやすくなっています。室外と室内の温度差が大きくなりすぎないように気をつけましょう。また、暑い日は強い日差しの中で紫外線を浴びます。紫外線によって皮膚は日焼けをしてシミ、皮膚がんの原因になったり、体の免疫力を弱めたりします。外に出る時は帽子をかぶったり、UVクリームをつけたりして紫外線対策をしましょう。室内でも熱中症を起こすことがあるので、水分もしっかりとりましょう。



6月の予定

詳しくはホームページ・QRコード/院内のボードに記載してありますのでご覧下さい。
この他にも変更になることがありますのでご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 午後受付 5時まで	3 休診
4	5 午後受付 6時まで	6	7	8	9	10 午後診察 4時~5時 まで
11	12 午後受付 6時まで	13	14	15	16 午後受付 6時まで	17 午後休診
18	19 午後受付 6時まで	20	21 午後受付 6時まで	22	23 午後受付 6時まで	24 午前受付 11時半まで 午後通常通り
25 厚生病院 休日担当	26	27	28	29	30 午後受付 6時まで	

【変更内容】

- 2(金) 会合のため午後受付5時まで
- 3(土) 未来ワーク救護担当のため休診
- 5(月) 会合のため午後受付6時まで
- 10(土) 午後診察4時から5時まで
- 12(月) 会合のため午後受付6時まで
- 16(金) 会合のため午後受付6時まで
- 17(土) 会合のため午後休診
- 19(月) 会合のため午後受付6時まで
- 21(水) 会合のため午後受付6時まで
- 23(金) 会合のため午後受付6時まで
- 24(土) 午前受付11時半まで午後通常通り
- 30(金) 会合のため午後受付6時まで

診療時間 8:30~12:00

15:00~18:30

休診: 木曜日午後・日曜日

祝祭日



まつだ小児科で早朝/ルディックウォーク♪

毎週木曜日 朝7時からノルディックウォークをしています。まつだ小児科から打吹公園までの約20分程度のコースです。(ノルディックポールを使ってみたい方は、火曜日までにご連絡いただければポールを準備いたします。子ども用もありますのでお問い合わせください(無料)

雨天・悪天候の場合は中止とさせていただきます。

院長担当健診の予定

- 6/14(水) 北栄町3歳児健診
- 20(火) 三朝町5歳児健診
- 27(火) 三朝町6ヶ月健診
- 28(水) 三朝東小赤ちゃんふれあい会事前学習

< 予防接種 >

予防接種の時間帯はありません

一般外来の診察時間内

午前9時~11時まで 午後3時30分~4時30分まで
(木曜日は午前9時~10時30分まで)

ワクチンの準備などがありますので

あらかじめ受付(電話: 22-2959)ご予約ください。

電話でのお問い合わせは

午前9時~午後5時00分をお願いします。

< 健診 >

予約制(3~5人)

毎週月・火・水・金・土 午後1時半~3時まで

ご希望の方は**お早め**に受付でお申し込みされるか、お電話(受付22-2959)でご相談ください。

小児科休日診療のご案内

場所: 厚生病院 TEL: 22-8181

時間: 午前10:00~午後1:15

中部小児科医会の会員が小児救急を担当しています。

当院院長の担当日は **6月25日**です。



インターネット予約のご案内

従来の電話による診療予約に加え携帯電話・パソコンからのインターネット予約が可能となりました。どうぞご利用ください。



【お願い】

学会、会合等の都合により受付を早く終了することがあります。

1ヶ月ほど前から院内に表示してありますのでチェックしていただくと助かります。ホームページ(HP)もご確認いただければ幸いです。

お間違えのないよう受診してください。皆様のご協力をお願い致します。

予約電話番号 23 - 5489 (ニイサン ハゴヨyak)

食物アレルギー

特定の食べ物を食べたり、飲んだりすると皮膚が赤くなったり、まれに嘔吐や下痢・ゼーゼーと息苦しくなったり、顔色が悪くなってショックを起こしたりすることがあります。一昔前は食物アレルギーの原因となる食物は完全に除去すべきと考えられてきました。現在は、安全な量を摂取し続けた方が耐性を獲得して、症状が重症にならないと考えられるようになってきました。

診断



〔血液検査〕

【特異的IgE抗体検査】

食物に対する特異的IgE抗体を検出するもので、あくまで目安であり、数値が高いからといって摂取して症状が出るとは限りません。また、数値が低くても症状が出ることもありますので、その食物を摂取して症状が出るかどうかを確認することの方が大切です。

【ヒスタミン遊離試験(HRT)】

血液中のリンパ球を特定の食べもので刺激して、ヒスタミンというアレルギーをおこす物質がでてくるかどうかをみる検査で、平日午前中のみでの検査となります。

〔食物負荷テスト〕

疑われる食物を摂取して何か症状がでるかを
確認する検査です。
少量ずつ15分毎に摂取し、症状がでるかどうか
を確認します。
当院では火・水・金曜日の午前中に実施しています。
(予約制になっております)



食物アレルギーのある食べ物の摂取の進め方

摂取量を医師と相談して決定し、平日午前中から始めます。
(何か症状がでた時のことを考え、医療機関の診療時間内の午前中に摂取します)

毎日、指定された量を摂取し、発疹などの症状が出ないかどうかを確認していきます。

1~2週間摂取し続け、症状がなければ医師と相談し、次のステップに進みます。

発疹など症状がでた場合は写真を撮っておきましょう。
(受診時には症状が消えていることもあります。)

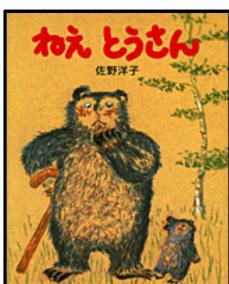
自己判断せず、必ずかかりつけ医の指導のもと進めていきましょう。



乳児期の湿疹は将来のアレルギー発症と関係があることが明らかになってきており、乳児期の湿疹管理、スキンケアが大変重要です。バリア機能が障害された皮膚を介して、ダニや食物アレルギーに感作され、将来のアレルギーの発症につながります。そのため、乳児期から、保湿剤などで皮膚のバリアを保護し、湿疹を悪化させないようにスキンケアすることが大切です。



今月のおすすめ絵本



『ねえ とうさん』

佐野 洋子 / 作

久しぶりに帰ってきたとうさんにくまの子がお願いをします。
とうさんは「よしよし」といってすべて叶えてくれます。くまの子はお父さんを尊敬！
とうさんとくまの子のほのぼのとしたおはなし。ぜひご家族で読んでみてください。

紹介：中西（事務）



おすすめ絵本は、当院待合室にもおいてあります。